

重量車燃費評価手法について (概 要)

1 . 燃費の測定方法について

重量車は、車体が大きく車種数が膨大であるため実際の車両を測定器（シャシダイナモメータ）にセットして燃費を実測することは困難である。このため、重量車の燃費測定方法は、コンピュータ上で車両を仮想走行させて燃費を算出する「シミュレーション法」を採用する。

ただし、車両総重量 2 . 5 トンを超え 3 . 5 トン以下の自動車については、排出ガス測定と同様にシャシベース（10・15 モード）での測定とする。

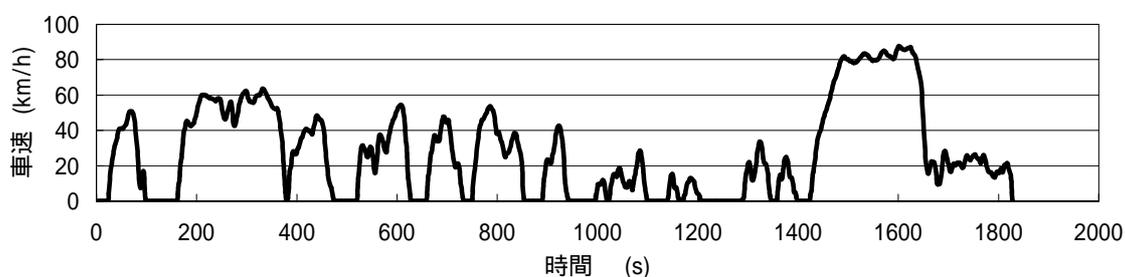
2 . 燃費の走行モードについて

重量車は都市内走行を主とするものばかりではなく、都市間走行を主とするものもあることから、都市内走行モードと都市間走行モードの 2 つのモードとした。

それぞれの走行モードは、以下のとおりとする。

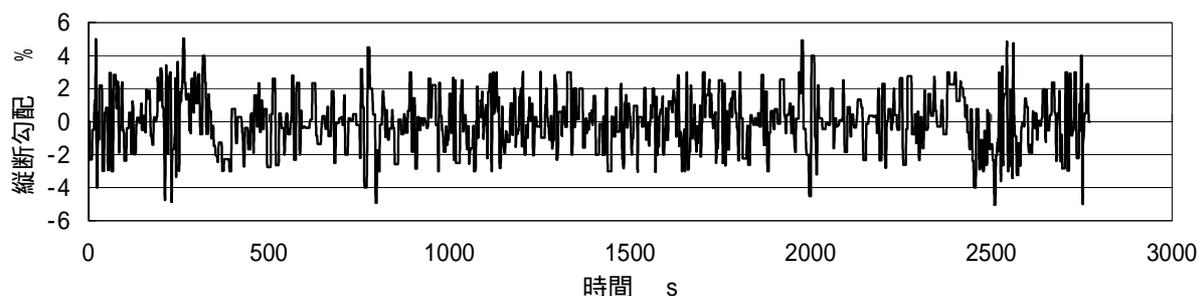
(1) 都市内走行モード

都市内走行モードは、排出ガスの新長期規制と同じ走行モードとする。



(2) 都市間走行モード

都市間走行モードは、定速走行とし、東名高速道路の縦断勾配を反映した走行モードとする。



なお、都市間走行時の車速、燃費を測定する車種および積載量は、今後、検討する。